

令和5年度 経営改革プラン

団体名	公益財団法人神戸市公園緑化協会
-----	-----------------

設立年月日	昭和43年4月20日
-------	------------

団体の設立目的・沿革	<p>公益事業の担い手として、都市緑花、公園緑地及び動物園に関する事業を通して、市民や行政との協働の理念による潤いと彩りあふれる市民生活の実現を推進し、市民に憩いと安らぎの場を提供することにより、市民の健康増進、余暇活動の促進及び教育文化の向上に寄与することを目的としている。</p> <p>【沿革】 昭和38年7月1日任意団体神戸市公園協会発足。昭和43年財団法人認可により神戸市公園協会設立（昭和57年名称変更：財団法人神戸市公園緑化協会）。平成8年4月財団法人神戸王子動物園協会と統合。平成23年4月公益財団法人に移行。</p>
------------	---

団体の主な事業内容	事業名	所管局
	緑化啓発事業	建設局公園部管理課、自主事業
	一般公園等維持管理事業	建設局公園部管理課
	須磨離宮公園・森林植物園管理運営事業	建設局公園部管理課、経済観光局観光企画課
	神戸総合運動公園管理運営事業	建設局公園部管理課
	国営明石海峡公園神戸地区運営管理事業	国土交通省近畿地方整備局
	動物園・公園等附帯事業	建設局王子動物園、公園部管理課、自主事業

代表者	理事長 鍵本 敦
-----	----------

役職員数 (令和6年7月時点)	理事・評議員		監事		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		54	54
神戸市派遣職員	1	1	-	-		10	12
神戸市OB職員	1	1	-	-	9		11
その他	-	11	-	2	42	1	56
合計	2	13	-	2	51	65	133

財務状況（単位：百万円）	令和5年度	令和4年度	差引
経常損益	4	▲ 4	8
当期正味財産増減額	▲ 4	▲ 3	▲ 1
流動資産	628	768	▲ 140
流動負債	408	555	▲ 147
長期借入金（固定負債）	0	0	0
期末現金預金残高	431	489	▲ 58

■ 中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針 2025 期間中のミッション）

ミッション①	都市緑化・公園緑地にかかる専門組織としての強みを強化し、市政に貢献すること。
ミッション②	健全な財政基盤と民間企業と連携した効率的な管理運営で、市民に利益を還元すること。
ミッション③	必要な知識・経験をもつ人材育成としなやかな組織体制で、市の公園緑地行政を補完すること。

■ 短期的なミッション（令和5年度のミッション）

ミッション①	自立した組織体制の再構築
ミッション②	固有職員の人材育成と民間人材の登用
ミッション③	王子動物園に関する事業の今後のあり方検討
ミッション④	指定管理施設の活性化と集客増対策
ミッション⑤	財政基盤強化のための目標設定とエビデンスの強化
ミッション⑥	民間事業者との連携強化

■ 経営指標（令和5年度）

経営指標				令和4年度	令和5年度	前年度比増減
人的 パフ オー マン ス	職員 一人 あたり 純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	▲ 0.021	▲ 0.029	▲0.0ポイント
	経常費用 人件費比 率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	24.61%	26.83%	2.2ポイント
財政 的 パフ オー マン ス	総資本 経常利益 率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	▲0.30%	0.33%	0.6ポイント
	流動資産 回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	274.63%	329.44%	54.8ポイント
財政 安 定 性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	138.35%	153.75%	15.4ポイント
	自己資本 比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	51.24%	57.29%	6.0ポイント
持 続 性	自己資本当 期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	▲0.39%	▲0.54%	▲0.2ポイント
	純資産 増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	▲0.39%	▲0.54%	▲0.2ポイント

■ミッション工程表

ミッション名	令和5年度			令和6年度			令和7年度～					
中長期的ミッション												
都市緑化・公園緑地にかかる専門組織としての強みを強化し、市政に貢献すること。	・緑化に関わる市民・団体・事業者との新たなネットワークづくり ・都心三宮再整備エリアへの参画検討 ・Living Nature Kobeの実証実験（モデル花壇の整備・情報発信等）への参画及び検証 ・基金事業の充実			・緑化に関わる市民・団体・事業者との新たなネットワークづくり ・都心三宮再整備エリアへの参画 ・Living Nature Kobeの実証実験（モデル花壇の整備・情報発信等）への参画及び検証 ・基金事業の充実			・緑化に関わる市民・団体・事業者との新たなネットワークづくり ・都心三宮再整備エリアへの参画 ・Living Nature Kobeの実証実験（モデル花壇の整備・情報発信等）への参画及び検証 ・基金事業の充実			※Living Nature Kobe とは 高度な造園技術によって都心に人と自然の共生が感じられるような美しい空間をつくっていくこと		
健全な財政基盤と民間企業と連携した効率的な管理運営で、市民に利益を還元すること。	・次期受託業務の獲得（あいな里山公園） ・民間事業者との更なる連携強化 ・持続可能な財政基盤の強化策検討 ・動物園事業の見直しについての提案実施			・次期指定管理者の指定獲得（神戸総合運動公園） ・民間事業者との更なる連携強化 ・持続可能な財政基盤の強化 ・動物園事業に応じた公益事業の在り方検討			・民間事業者との更なる連携強化 ・持続可能な財政基盤の強化 ・新たな公益事業の在り方実施					
必要な知識・経験をもつ人材育成としなやかな組織体制で、市の公園緑地行政を補完すること。	・組織体制の柔軟な見直し ・専門職の配置検討（経験者採用・民間人材の活用） ・協会を担うための人材の育成			・組織体制の柔軟な見直し ・職員がいきいきと働ける組織の構築（制度の見直し） ・協会を担うための人材の育成			・組織体制の柔軟な見直し ・職員がいきいきと働ける組織の構築（制度の見直し） ・協会を担うための人材の育成					
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
自立した組織体制の再構築	市派遣▲2		各所属職員減員に向けた業務の見直し実施				令和6年度に向けた業務・組織・人員の検討				定数減	
固有職員の人材育成と民間人材の登用	キャリア採用の経営職昇格資格の見直し検討				実施要項の改正		経営職の募集・選考					
	採用制度再検討				採用試験実施				採用制度検証			
王子動物園に関する事業の今後のあり方検討	協会から市へ提案		協会が実施する事業内容を市と調整						園内遊園地事業者等との調整			
指定管理施設の活性化と集客増対策	森林植物園		立案したコンセプトデザインに沿った植栽(アジサイ等)魅力アップの検討						魅力アップの実施			
	森林植物園		森林展示館一部オープン				森林展示館改修工事に市との調整・設計				森林展示館改修工事	
	森林植物園 駐車場出入口改修に向けた市・関係機関との調整・協議											
	須磨離宮公園		バラ園再整備内容の検討・ガイド体制の変更				ガイド新体制へ本格移行		再整備（株の更新）			
	須磨離宮公園		鑑賞室のバリアフリー化工事・植物の入れ替え等の市との調整									
財政基盤強化のための目標設定とエビデンスの強化			次期中期経営計画骨子策定				次期中期経営計画案策定		次期中期経営計画次期計画決定		理事会報告	
	駐車場		現状整理・周辺調査		改定額検討・収支予想		関係部署調整		改定に向けて準備・通知			
	総合運動公園		トレーニングセンター料金改定の検討、及び改定に伴うサービスの検討						広報、料金改定及びサービス向上策の実施			
	収支構造の改善検討（民間事業者との連携強化、指定管理施設の活性化と集客増対策の実施による収益増）											
民間事業者との連携強化	森林植物園		既連携機関（弓削牧場）との調整・実証実験				飲食関係（屋台・キッチンカー等）の調整		実験・調整を踏まえ実施			
	須磨離宮公園		須磨周遊バス実証実験・検証・調整						社会実験を踏まえたアクション・実装			
	須磨離宮公園		西須磨パークチケット販売（山電）・須磨水族園共通チケット販売・潮見台カフェオープン（神戸女子大）									
	総合運動公園		パートナー事業者との協議、現状分析、課題整理				取組の実践、新たなパートナー獲得に向けた検討、管理体制の検討					

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)	都市緑化・飾花・公園緑地に関わる多くの個人、企業、団体とのつながりをもつ唯一の専門的団体である強みを活かし、財政基盤の強化と効率的な公園緑地マネジメントと潤いと彩ある緑花・飾花を推進し、市民貢献及び魅力ある神戸のまちづくりに寄与する。 【数値目標】 ①公益目的事業比率 : 70%以上 ②令和5年度以降収支均衡 : ±0 ③市職員(担当者派遣・教員OB)の段階的削減 : R06 = 2人 ④指定管理公園計画入園者数 : 目標数以上 ⑤協会職員の経営職(係長級)への登用 : +1人以上
	○パークマネジメント事業に関するノウハウの強化・活用【市民貢献並びに市政への貢献】	
	①ボランティア・花緑専門団体・事業者とのコネクションの強化【市民貢献並びに市政への貢献】	
	②次期中期経営計画の策定【財政基盤の強化】	
	②自主事業の料金適正化【財政基盤の強化】	
	③組織のスリム化検討と協会職員の育成【効率的な組織運営】	
	④クラウドファンディングを活用したバラ園の充実【各園の魅力アップと集客増】	
	④有料公園(森林・離宮)の渋滞対策に向けた市との協議【来園者の利便性向上】	
	④指定管理公園の民間企業・大学等との連携による事業の実施【各園の魅力アップと集客増】	
	⑤キャリア採用及び採用制度の見直し【民間人材の活用としなやかな組織体制の構築】	

■ 市支援策の活用状況(令和5年度)

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度		<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査

■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

（１）中長期的ミッションの達成状況

・ホームページやSNSの充実を図り、市内開花情報等の情報発信を進めるとともに、緑花ボランティア活動や市民活動への支援を行った。また、市街地の花壇管理において神戸市が進めるLiving Nature Kobeを実践する等、神戸市の緑化事業の一端を担った。

・第3期（令和6年2月開始）のあいな里山公園管理受託業務を獲得した。また、民間企業との連携においては、須磨離宮公園における神戸西須磨パークス1dayチケットや、森林植物園におけるアジサイの傘の販売等を通じて、公園の魅力向上を図った。さらに、アスリート応援パートナー事業における広告収入を用いて、ユニバー記念競技場の施設備品更新を行う等、競技者の利便性向上に努めた。

・公園緑地の管理運営等のノウハウや技術を有する職員の育成に加えて、協会の重点事業に係るワーキングや経営方針を決定する会議等に職員を参画させ、自立性を高めるとともに、円滑な組織運営に貢献できる人材を経営職へ登用（係長級昇任）し、組織の活性化を図った。

(2) 短期的ミッションの達成状況

・業務内容や執行体制の見直しを行い、市派遣職員2名減を含め、自立した組織体制の構築に向けた体制の効率化を図った。

・令和4年度から開始したキャリア採用を継続し、優秀な人材確保に努めた。また、協会の経営に参画し、事業推進の中核的な役割を担える人材を選考し、1名の固有職員を経営職へ登用した。さらに、造園に関する経験やノウハウを有する民間人材を登用した。

・神戸市が発表した王子公園再整備基本計画に基づき、今後の事業参画のあり方について検討した。また、直営遊戯の壁面美装化、キッチンカー配置による飲食サービスの継続、売店における職員がデザインしたイラストを使用した新商品の販売等、来園者サービスの向上に努めた。

・須磨離宮公園では、クラウドファンディングの実施により集まった資金を活用した、バラの歴史と文化園のリニューアル等、バラ園の計画的な更新をはじめ、多彩なイベントの開催や、ホームページ・SNSを通じた魅力発信等により、園の魅力向上に努めた。森林植物園では、コンセプトデザインに基づく植栽整備の実施や、森林展示館のリニューアル等により、園の魅力向上に努めるとともに、繁忙期の渋滞対策を目的とした駐車場出入口改修について市と協議を行い、園の利便性向上を図った。以上の取り組みにより集客増を図ったが、市が定めた目標入園者数には届かなかった。

【指定管理施設の目標値と令和5年度実績】

須磨離宮公園：目標値268,000人 / 実績234,359人

森林植物園：目標値210,000人 / 実績185,451人

・令和6年度から令和8年度の3箇年で第7次中期経営計画を策定し、経営目標を定めた。また、アスリート応援パートナー事業として企業広告費を集めるとともに、神戸総合運動公園のトレーニングセンター料金の改定を実施する等、収益確保に努めた。さらに、各公園施設附帯駐車場の料金改定について、周辺調査、料金体系の検討を行った。以上の取り組みの結果、令和5年度においては596千円の黒字決算となり、収支均衡を実現した。

・須磨離宮公園では、山陽電気鉄道株式会社、須磨海浜水族園と連携し、神戸西須磨パークス1dayチケットや共通入園券の販売を行った。森林植物園では、弓削牧場と連携し、飲食サービスの向上を図るとともに、株式会社フェリシモと連携し、アジサイの傘の販売を行った。神戸総合運動公園では、次期指定管理の獲得を目指し、共同事業体結成に向けた管理体制の検討や、事業者との協議を行った。

(3) 市政への貢献・市民への還元状況

自主事業で得た収入は、緑花普及啓発事業（園芸相談、花の名所の開花情報等の情報発信、緑花ボランティア育成等）や、指定管理公園事業（各園の魅力向上策等）等の公益事業に活用し、市政の補完的役割を担った。また、小中学生を主な対象とした環境体験学習や動物教室を開催する等、教育面での市民への還元にも努めた。以上の取り組みの結果、令和5年度における公益目的事業比率は77.2%となった。

■外郭団体マネジメント推進本部の評価

(1) 総合的意見

中長期ミッションの達成に向け、人材育成や、民間人材の登用による組織づくり、民間企業等との連携などの取り組みが進んでいる。今後、市政への貢献が持続可能なものとなるよう、更なる財政基盤の強化に取り組んでいただきたい。

(2) 数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	都市緑化・飾花・公園緑地の専門的団体として、個人、企業、団体との連携のほか、人材育成の取り組みが進められている。
短期的ミッション	固有職員の人材育成やキャリア採用による人材確保等組織体制の強化に取り組むとともに、離宮公園でのクラウドファンディングや、神戸総合運動公園競技場でのアスリート応援パートナー事業といった収入確保に向けた取組を講じ、その収入で園の魅力向上を図った。
団体目標の達成状況	公益目的事業比率や収支均衡などほとんどの目標数値を達成しているが、指定管理公園の入園者数が目標に達しなかった。更なる入園者数向上に努めること。
市への貢献・市民への還元状況	自主事業で得た収入を財源とし、緑化啓発事業や指定管理公園における各園の魅力向上策実施等の公益事業を行っている。

(3) 今後の方向性

団体の存廃も含めた検討を要する団体

継続的な見直しを要する団体

取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体